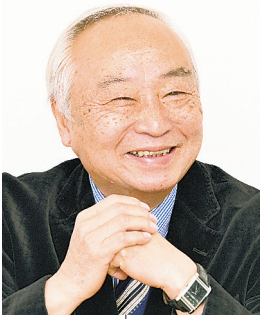


# 論説

新型コロナウイルス感染症が止まらない。またも病院はパンク状態だ。自宅や施設での療養には、かかりつけ医が頼りだが、発熱外来や往診を担う診療所はなかなか見つからない。

かかりつけ医普及の力ぎを握る日本医師会の新・旧会長の会見を聞いた。

中川俊男氏(71)は常任理事、副会長の14年を経て会長2年はコロナ禍一色だ



## 宮武剛

## コロナ禍と医師会

# 頼れる医師を求めて

つた。退任会見(6月16日)で、当時の菅首相が「ワクチン投与1日100万回」と宣言したのに「驚いた。」しかし、医師会は底力を発揮し、最高1日170万回に達した」と誇った。

人口当たり病床数は多いのに、なぜ逼迫するのか。その疑問に改めて答えた。

「病床の定義が違い、日本の総病床数には精神病床(約33万床)を含めるが、欧米は別枠」「急性期病床とリハビリ病床の合計は人口千人当たり7・8床、ド

「国民皆保険体制はコロナ医療でも高水準」と中間総括した。しかし、自宅療養者は第6波ピークで58万人、療養中の死者は第5〜6波で757人(判明分)。いま第7波で自宅療養者は150万人台に達し、いつでもどこでも医療を受けられ

みやたけ・ごう NPO法人福祉フォーラム・ジャパン副会長、学校法人・社会医学技術学院顧問

るはずの皆保険体制は機能不全に陥ったではないか。筆者も尋ねた。「発熱外来や訪問診療・往診をしてくれた診療所(開業医)は全体のいったい何割か?」「数字は持ち合わせないが、施設が狭くゾーニング(感染防止の区分け)がで

「国民皆保険体制はコロナ医療でも高水準」と中間総括した。しかし、自宅療養者は第6波ピークで58万人、療養中の死者は第5〜6波で757人(判明分)。いま第7波で自宅療養者は150万人台に達し、いつでもどこでも医療を受けられ

「国民皆保険体制はコロナ医療でも高水準」と中間総括した。しかし、自宅療養者は第6波ピークで58万人、療養中の死者は第5〜6波で757人(判明分)。いま第7波で自宅療養者は150万人台に達し、いつでもどこでも医療を受けられ